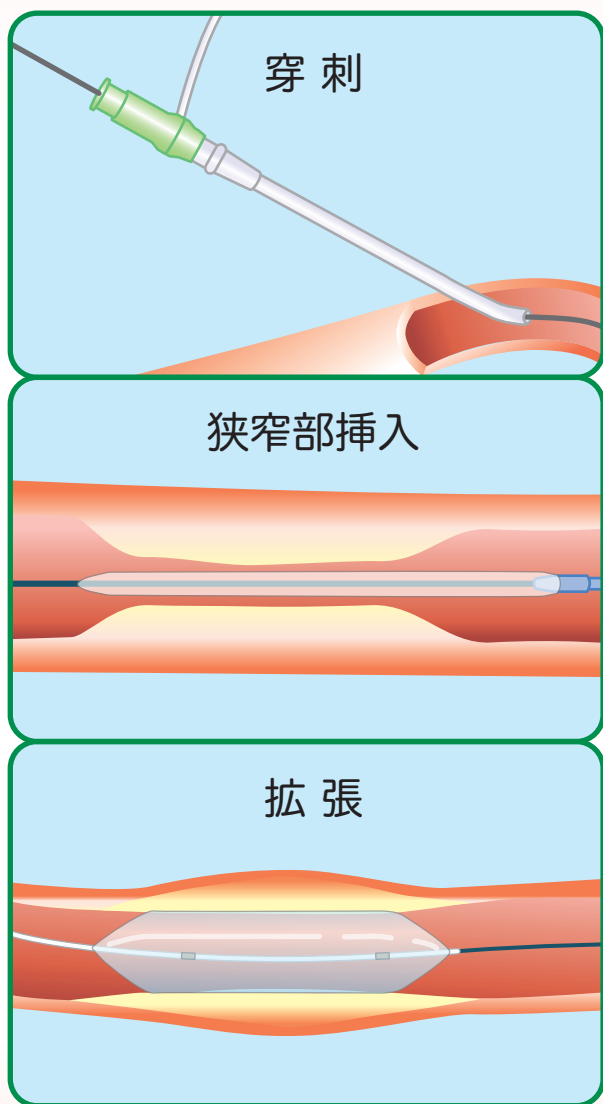


シャントの経皮的血管形成術 (シャントPTA)

シャントPTAとは、下図1のようにシャントに針を刺して風船の付いたチューブを入れ、シャント血管の狭くなっている箇所を広げ、シャントを長期間使用できるようにする治療法です。通常、入院の必要はなく局所麻酔で行い、治療時間も30～60分です。

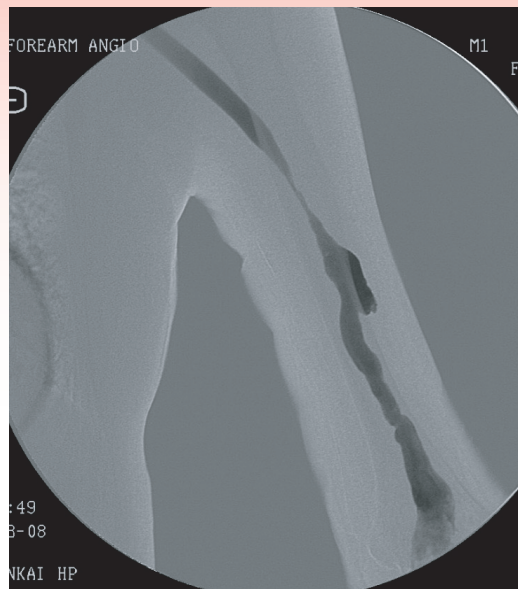
●図1



一度狭窄したシャント静脈は、PTAを実施しても再狭窄率が高くなり、平均開存は4～5ヶ月です。

石灰化の強い病変など、拡張できない症例もあります。完全閉塞した場合は、狭窄した場合に比べて手技に時間がかかり、初期成功率が低下し、開存率が低下すると言われています。早期の治療が良いと思います。

●治療例



●過去6年間のシャントPTA施行数

